# 取扱説明書

# FlexScan®
# S2231W

## カラー液晶モニター

### 重要

**ご使用前には必ず本取扱説明書およびセットアップマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。**
**この取扱説明書は大切に保管してください。**



**セットアップについて**
コンピュータとの接続から使いはじめるまでの基本説明についてはセットアップマニュアルをお読みください。

## 絵表示について

本書では以下の絵表示を使用しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

### 警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

### 注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容、および物的損害のみ発生する可能性がある内容を示しています。

| | |
|---|---|
| △ | 注意（警告を含む）を促すものです。たとえば は「感電注意」を示しています。 |
| ⃠ | 禁止の行為を示すものです。たとえば は「分解禁止」を示しています。 |
| ● | 行為を強制したり指示するものです。たとえば は「アース線を接続すること」を示しています。 |

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

本装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

本装置は、高調電波電流を抑制する日本工業規格 JIS C 61000-3-2 に適合しております。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

製品の仕様は販売地域により異なります。お買い求めの地域に合った言語の取扱説明書をご確認ください。



1.本書の著作権は株式会社ナナオに帰属します。本書の一部あるいは全部を株式会社ナナオからの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
2.本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
3.本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
4.本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

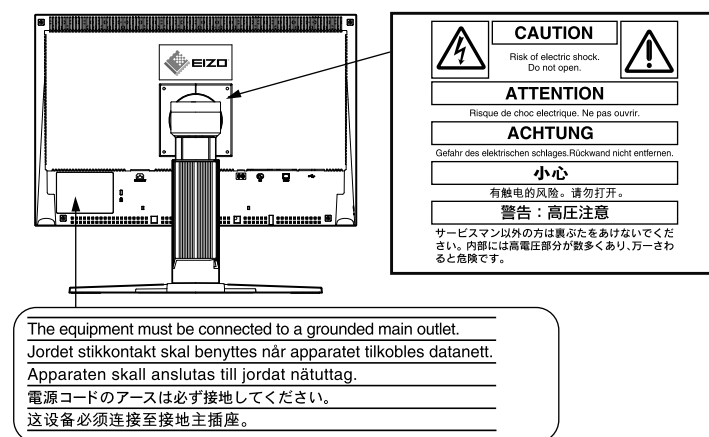
# ⚠使用上の注意

## 重要

- 本製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。
  This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

- ご使用前には、「使用上の注意」および本体の「警告表示」をよく読み、必ずお守りください。

## 【警告表示位置】

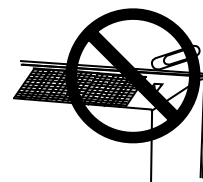
**ハイトアジャスタブルスタンド例**

## ⚠ 警告

**万一、異常現象（煙、異音、においなど）が発生した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店またはエイゾーサポートに連絡する**
そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。

**裏ぶたを開けない、製品を改造しない**
本製品内部には、高電圧や高温になる部分があり、感電、やけどの原因となります。
また、改造は火災、感電の原因となります。

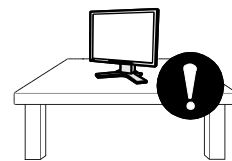
**修理は販売店またはエイゾーサポートに依頼する**
お客様による修理は火災や感電、故障の原因となりますので、絶対におやめください。

**異物を入れない、液体を置かない**
本製品内部に金属、燃えやすい物や液体が入ると、火災や感電、故障の原因となります。

万一、本製品内部に液体をこぼしたり、異物を落とした場合には、すぐに電源プラグを抜き、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。

## 警告

**丈夫で安定した場所に置く**

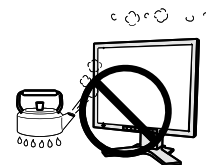
不安定な場所に置くと、落下することがあり、けがの原因となります。

万一、落とした場合は電源プラグを抜いて、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

**次のような場所には置かない**

火災や感電、故障の原因となります。

・屋外。車両・船舶などへの搭載。

・湿気やほこりの多い場所。浴室、水場など。

・油煙や湯気が直接当たる場所や熱器具、加湿器の近く。

**プラスチック袋は子供の手の届かない場所に保管する**

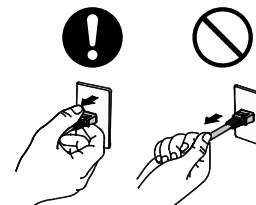
包装用のプラスチック袋をかぶったりすると窒息の原因となります。

**付属の電源コードを 100VAC 電源に接続して使用する**

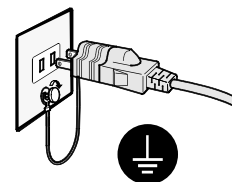
付属の電源コードは日本国内 100VAC 専用品です。

誤った接続をすると火災や感電の原因となります。

**電源コードを抜くときは、プラグ部分を持つ**

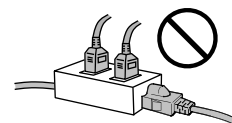
コード部分を引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となります。

**電源コンセントが二芯の場合、付属の二芯アダプタを使用し、安全（感電防止）および電磁界輻射低減のため、アースリード（緑）を必ず接地する**

なお、アースリードは電源プラグをつなぐ前に接続し、電源プラグを抜いてから外してください。順序を守らないと感電の原因となります。

二芯アダプタのアースリード、および三芯プラグのアースが、コンセントの他の電極に接触しないようにしてください。

**次のような誤った電源接続をしない**

誤った接続は火災、感電、故障の原因となります。

・取扱説明書で指定された電源電圧以外への接続。

・タコ足配線。

**電源コードを傷つけない**

電源コードに重いものをのせる、引っ張る、束ねて結ぶなどをしないでください。電源コードが破損（芯線の露出、断線など）し、火災や感電の原因となります。

## 警告

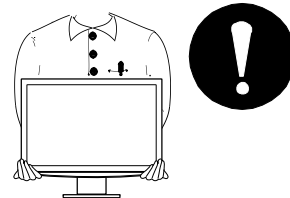
**雷が鳴り出したら、電源プラグやコードには触れない**
感電の原因となります。

**アーム（または他のスタンド）を使用する場合は、それらの取扱説明書の指示にしたがい、確実に設置する**
確実に設置されていないと、外れたり、倒れたりしてけがや故障の原因となります。万一、落とした場合は電源プラグを抜いて、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。また、取り外したスタンドを再度取り付ける場合には必ず元のネジを使用し、確実に固定してください。

**液晶パネルが破損した場合、破損部分に直接素手で触れない**
もし触れてしまった場合には、手をよく洗ってください。
万一、漏れ出た液晶が、誤って口や目に入った場合には、すぐに口や目をよく洗い、医師の診断を受けてください。そのまま放置した場合、中毒を起こす恐れがあります。

## ⚠ 注意

**運搬のときは、接続コードやオプション品を外す**
コードを引っ掛けたり、移動中にオプション品が外れたりして、けがの原因となります。

**本製品を移動させるときは、右図のように画面の下部を両手で持つ**
落としたりするとけがや故障の原因となります。

**通風孔をふさがない**
・通風孔の上や周囲にものを置かない。
・風通しの悪い、狭いところに置かない。
・横倒しや逆さにして使わない。
通風孔をふさぐと、内部が高温になり、火災や感電、故障の原因となります。

**濡れた手で電源プラグに触れない**
感電の原因となります。

**電源プラグの周囲にものを置かない**
火災や感電防止のため、異常が起きた時すぐ電源プラグを抜けるようにしておいてください。

**電源プラグ周辺は定期的に掃除する**
ほこり、水、油などが付着すると火災の原因となります。

**クリーニングの際は電源プラグを抜く**
プラグを差したままでおこなうと、感電の原因となります。

**長時間使用しない場合には、安全および省エネルギーのため、本体の電源スイッチを切った後、電源プラグも抜く**

## 液晶パネルについて

経年使用による輝度変化を抑え、安定した輝度を保つためには、ブライトネスを下げて使用されることをおすすめします。

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素がありますので、あらかじめご了承ください。また、有効ドット数の割合は 99.9994% 以上です。

液晶パネルに使用される蛍光管（バックライト）には寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、販売店またはエイゾーサポートにお問い合わせください。

液晶パネル面やパネルの外枠は強く押さないでください。強く押すと、干渉縞が発生するなど表示異常を起こすことがありますので取り扱いにご注意ください。また、液晶パネル面に圧力を加えたままにしておきますと、液晶の劣化や、パネルの破損などにつながる恐れがあります。（液晶パネルを押したあとが残った場合、画面全体に白い画像または黒い画像を表示すると解消されることがあります。）

液晶パネルを固いものや先の尖ったもの（ペン先、ピンセット）などで押したり、こすったりしないようにしてください。傷がつく恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意ください。

同じ画像を長時間表示することによって、表示を変えたときに前の画像が残像として見えることがあります。長時間同じ画像を表示するようなときには、スクリーンセーバーやタイマー機能の活用をおすすめします。

本製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露が生じることがあります（結露）。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

## モニターを快適にご使用いただくために

画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響をおよぼすことがあります。状況に応じてモニター画面の明るさを調整してください。

長時間モニター画面を見続けると目が疲れますので、1 時間に 10 分程度の休憩を取ってください。

# もくじ

# 第 1 章　特長と概要

このたびは当社カラー液晶モニターをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

## 1 - 1　特長

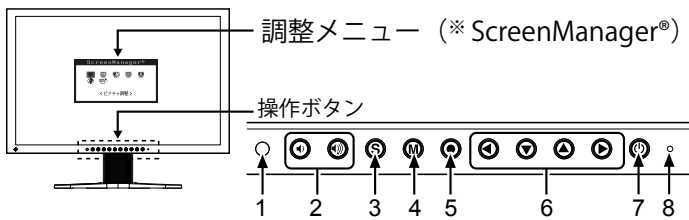
- ワイドフォーマット 22.0 インチ
- HDCP 対応
- ステレオスピーカー搭載
- 2 系統信号入力搭載（DVI-I、D-Sub15 ピン（ミニ）コネクタ）
- DVI デジタル入力（TMDS）対応
- 水平周波数、垂直周波数、表示解像度、は以下の通り

| 水平周波数 | アナログ信号入力時 | 24 ～ 82kHz |
|---|---|---|
| | デジタル信号入力時 | 31 ～ 65kHz |
| 垂直周波数 | アナログ信号入力時 | 49 ～ 86Hz |
| | | 49 ～ 76Hz　（1280 × 1024） |
| | | 49 ～ 61Hz　（1680 × 1050） |
| | デジタル信号入力時 | 59 ～ 61Hz　（VGA TEXT 時 69 ～ 71Hz） |
| 表示解像度 | | 1680 ドット× 1050 ライン |

- フレーム同期モード対応　59 ～ 61Hz
  ※<拡大モード>の設定が「フルスクリーン」の場合のみ
- 縦型表示対応
- スムージング（ソフト～シャープ）機能（拡大表示時）
- ファインコントラスト機能を搭載。表示画像に適した画面選択が可能
- マウスやキーボードを使って操作できるユーティリティソフトウェア「ScreenManager Pro for LCD (Windows 用)」を添付（EIZO LCD ユーティリティディスクを参照）
- BrightRegulator（ブライトレギュレータ）機能
- セルフアジャスト（自動画面調整）機能

参 考

- 本機はスタンド部分を取り外してアーム（別のスタンド）を取り付けることができます（「5 - 1 アーム取付方法」P30 参照）。

## 1 - 2　操作ボタン名称

1. センサー（BrightRegulator）
2. 音量調整ボタン
3. 入力切替ボタン
4. モードボタン
5. エンターボタン
6. コントロールボタン（左・下・上・右）
7. 電源ボタン
8. 電源ランプ

| ランプ状態 | 動作状態 |
|---|---|
| 青 | 画面表示 |
| 橙 | 節電モード |
| 消灯 | 電源オフ |

※　ScreenManager® は当社調整メニューのニックネームです。

参 考

- 画面表示時の電源ランプ（青）を消すことができます（「画面表示時の電源ランプを消す［電源ランプ］」P21 参照）。
- オフタイマー設定時の電源ランプ表示については「モニター電源を切る時間を設定する［オフタイマー］」(P18) を参照してください。

# 1 - 3　機能一覧と調整メニュー基本操作方法

## 画面・カラーを調整したいときは

# 便利な設定や調整をしたいときは

### ◉ メインメニュー（操作方法は P10 参照）

## 調整メニューの基本操作方法

**[ 調整メニューの表示と機能の選択 ]**

(1) 操作ボタンの ● を押します。メインメニューが表示されます。

(2) 操作ボタンの ▲ / ▼ / ◀ / ▶ で機能を選択し、● を押します。サブメニューが表示されます。

(3) 操作ボタンの ▲ / ▼ / ◀ / ▶ で機能を選択し、● を押します。調整 / 設定メニューが表示されます。

(4) 操作ボタンの ▲ / ▼ / ◀ / ▶ で調整し、● を押します。設定が確定します。

**[ 調整メニューの終了 ]**

(1) サブメニューで＜リターン＞を選択し、● を押します。メインメニューが表示されます。

(2) メインメニューで＜メニューオフ＞を選択し、● を押します。調整メニューが終了します。

参 考

- ● をすばやく続けて 2 回押しても調整メニューを終了させることができます。

# 第 2 章　設定と調整をする

## 2 - 1　ユーティリティディスクについて

本機には「EIZO LCD ユーティリティディスク」（CD-ROM）が付属しています。ディスクの内容やアプリケーションソフトウェアの概要は、下記を参照してください。

### ● ディスクの内容と概要

ディスクには、カラープロファイル、調整用のアプリケーションソフトウェア、取扱説明書が含まれています。各項目の起動方法や参照方法はディスク内の Readme.txt または「お読みください」を参照してください。

<table>
<tr><th>項目</th><th>概要</th><th>Windows 用</th><th>Macintosh 用</th></tr>
<tr><td colspan="2">Readme.txt または「お読みください」ファイル</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>カラープロファイル（ICC プロファイル）</td><td>モニターのカラー特性情報が入ったファイルです。</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>画面調整用プログラム</td><td>調整パターンと調整手順が表示されるため、手順にしたがって調整を簡単におこなえるプログラムです。</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>ScreenManager Pro for LCD<br>（Windows 用）</td><td>モニターの調整をマウスとキーボードを使ってコンピュータからコントロールするユーティリティです。（USB ケーブルによるモニターとコンピュータの接続が必要です。）後述参照</td><td rowspan="2">○</td><td rowspan="2">—</td></tr>
<tr><td>※ WindowMovie チェックソフトウェア</td><td>WindowMovie は、ScreenManager Pro for LCD の機能です。詳細はディスク内の ScreenMananger Pro for LCD の取扱説明書を参照してください。</td></tr>
<tr><td colspan="4">モニターの取扱説明書（PDF ファイル）</td></tr>
</table>

### ● ScreenManager Pro for LCD を使用するときは

ScreenManager Pro for LCD のインストール方法、使用方法については、ディスク内の ScreenManager Pro for LCD の取扱説明書を参照してください。

ScreenManager Pro for LCD を使ってモニター調整をおこなうにはモニターとコンピュータを付属の USB ケーブルで接続してください。詳細は、第 3 章「3-2 USB 対応の周辺機器に接続する」を参照してください。

# 2‐2　画面の調整をする

## デジタル信号入力の場合

デジタル信号入力の場合は、本機の設定データに基づいて画面が正しく表示されます。画面の調整をする必要はありません。

## アナログ信号入力の場合

モニターの画面調整とは、使用するコンピュータに合わせ、画面のちらつきを抑えたり画像の表示位置やサイズを正しく調整するためのものです。快適に使用していただくために、モニターを初めてセットアップしたときや使用しているコンピュータの設定を変更した場合には、画面の調整をしてください。

以下の場合には自動画面調整機能が働きます。
- モニターに今まで接続されたことのない信号が入力された場合
- 入力信号の解像度やリフレッシュレートを変えた場合で、今までに入力されていない信号の場合

**注意点**
- 調整はモニターの電源を入れて、30 分以上経過してからおこなってください。

**参 考**
- 付属の EIZO LCD ユーティリティディスクに「画面調整用プログラム」が含まれていますので、ご利用ください。

**注意点**
- 解像度 800 × 600（SVGA）未満の信号では自動画面調整機能は働きません。

**［調整手順］**

### 自動調整

**1　自動調整をします。［ピクチャー調整］**

(1) ＜自動調整＞メニューで＜ピクチャー調整＞を選択し、◉ を押します。

(2) ▲ または ▼ で＜実行＞を選択し、◉ を押します。
自動調整機能が働き、画面のちらつき・表示位置・サイズが正しく調整されます。

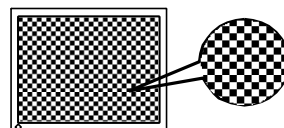
自動調整で調整しきれない場合は以降の手順に従って調整をおこなってください。画面が正確に表示された場合は、手順 4 のレンジ調整にお進みください。

**注意点**
- この機能は画面の表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。DOS プロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合や、壁紙など背景を黒で使用している場合には正しく動作しません。
- 一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。
- 自動調整中は、「実行中」と表示されます。

### 詳細調整

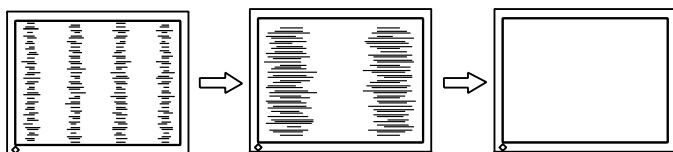
**2　画面調整プログラムを起動します。**

「EIZO LCD ユーティリティディスク」をコンピュータにセットし、「画面調整プログラム」を起動します。
起動後はプログラムの指示にしたがって手順 3 の調整をしてください。

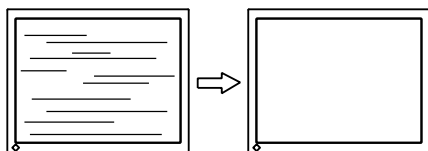
**参 考**
-「画面調整プログラム」の起動方法は Readme.txt あるいは「お読みください」ファイルに従ってください。Windows をお使いの方はディスクの起動メニューから、直接実行できます。
- ご使用のコンピュータに対応したプログラムがない場合は、画面に 1 ドット抜きのパターン（下記参照）などを表示して以下の手順に進んでください。

## 3 調整メニューの＜ピクチャー調整＞メニューで詳細な調整をします。

### ● 縦縞を消す [ クロック ]

(1) ＜ピクチャー調整＞メニューで＜クロック＞を選択し、◉ を押します。
＜クロック＞メニューが表示されます。

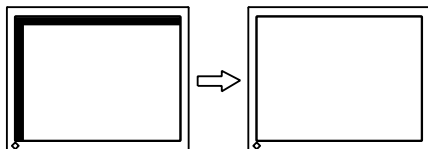
(2) ◀ または ▶ で縦縞が消えるように調整し、◉ を押します。
調整が完了します。

### ● ちらつきやにじみをとる [ フェーズ ]

(1) ＜ピクチャー調整＞メニューで＜フェーズ＞を選択し、◉ を押します。
＜フェーズ＞メニューが表示されます。

(2) ◀ または ▶ で最もちらつきやにじみのない画面に調整し、◉ を押します。
調整が完了します。

### ● 表示位置のずれを直す [ ポジション ]

液晶モニターは画素数および画素位置が固定であるため、画像の正しい表示位置は１箇所です。ポジション調整とは画像を正しい位置に移動するための調整です。

(1) ＜ピクチャー調整＞メニューで＜ポジション＞を選択し、◉ を押します。
＜ポジション＞メニューが表示されます。

(2) 画像の位置が合うように ▲ / ▼ / ◀ / ▶ で調整し、◉ を押します。
調整が完了します。

**参考**
- 調整が合ったポイントを見逃しやすいので、コントロールボタンはゆっくり押して調整するようにしてください。
- 調整後、画面全体ににじみやちらつき、横線が出た場合は次の「ちらつきやにじみをとる［フェーズ］」にすすみ調整をおこなってください。

**注意点**
- お使いのコンピュータやグラフィックスボードによっては、完全になくならないものがあります。

**参考**
- 調整後、画面に縦縞が現れた場合は、「縦縞を消す［クロック］」に戻り、再度調整をおこなってください。（クロック→フェーズ→ポジション）

## 4 信号の出力レンジを調整します。

### ● 色階調を自動調整する [ レンジ調整 ]

信号の出力レベルを調整し、すべての色階調（0 ～ 255）を表示できるように調整できます。

(1) ＜自動調整＞メニューで＜レンジ調整＞を選択し、◉ を押します。

(2) ▲ または ▼ で " 実行 " を選択し、◉ を押します。
出力レンジが自動的に調整されます。

「画面調整用プログラム」を使用した場合は、ここでプログラムが終了します。

## 5 スムージングの設定をします。

### ● 文字や線のぼやけを直す [ スムージング ]

低解像度を「フルスクリーン」、「拡大」モードで表示した場合、表示された画像の文字や線がぼやけて見える場合があります。

(1) 調整メニューの＜ピクチャー調整＞メニューを選択し、◉ を押します。

(2) ＜ピクチャー調整＞メニューで＜スムージング＞を選択し、◉ を押します。
＜スムージング＞メニューが表示されます。

(3) ◀ または ▶ で調整し、◉ を押します。
設定が完了します。

**注意点**

- 表示解像度によってはスムージングの設定をする必要はありません（スムージングアイコンを選択することはできません）。

# 2 - 3　カラー調整をする

## 簡易調整 [ ファインコントラストモード ]

モニターの明るさなどを表示画像に適した表示モードに切り替えることができます。

### ● ファインコントラストモードの種類

表示モード（５種類）を選択できます。

| モード | 目　的 |
|---|---|
| Custom | お好みの設定にすることができます。 |
| sRGB | sRGB 対応の周辺機器と色を合わせる場合に適しています。 |
| Text | 文書作成や表計算などの文字表示に適しています。 |
| Picture | 写真やイラストなどの画像表示に適しています。 |
| Movie | 動画の再生に適しています。 |

ファインコントラストモード名
例）Custom

Custom ― 現在のモードを表示

### ● ファインコントラストモードを選択する

(1) Ⓜ を押します。
ファインコントラストモード名が画面左下に表示されます。

(2) Ⓜ を押すたびに５つのモードが順に切り替わり表示されます。

→ Custom → sRGB → Text → Picture → Movie

(3) お好みのモードを選択し、◉ を押します。
設定が完了します。

参 考
- 調整メニューとファインコントラストモード名を同時に表示させることはできません。

## 詳細調整 [ 調整メニュー ]

ファインコントラストの表示モードごとに独立したカラー調整の設定、保存ができます。

### ● 表示画像に適したモードを選ぶ

○：調整可　―：調整不可

| アイコン | 機能名 | ファインコントラストモード | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | Custom | sRGB | Text | Picture | Movie |
| | ブライトネス | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | コントラスト | ○ | ― | ○ | ○ | ○ |
| | 色温度 | ○ | ― | ○ | ○ | ○ |
| | ガンマ | ○ | ― | ○ | ― | ― |
| | 色の濃さ | ○ | ― | ○ | ○ | ○ |
| | 色合い | ○ | ― | ○ | ○ | ○ |
| | ゲイン | ○ | ― | ― | ― | ― |
| | リセット | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| メニュー | 内　容 | 調整範囲 |
|---|---|---|
| ブライトネス | 画面全体の明るさを好みの状態に調整します。 | 0 ～ 100% |
| | 参 考<br>• 調整メニューが表示されていない状態から ◀ または ▶ を押しても、明るさの調整ができます。調整後は ● を押してください。<br>•「%」表示は調整値の目安としてご利用ください。 | |
| コントラスト | 画像のコントラストを調整します。 | 0 ～ 100%<br>50% ですべての色階調を表示します。 |
| | 参 考<br>•「%」表示は調整値の目安としてご利用ください。 | |
| 色温度 | 色温度を選択します。 | 4000K ～ 10000K まで 500K 単位で選択します。（9300K 含む） |
| | 参 考<br>• 調整値を「オフ」に設定するとパネル本来の色温度になります。<br>•「K」表示は調整値の目安としてご利用ください。 | |
| ガンマ | ガンマ値を設定します。 | 1.8、2.0、2.2 |
| 色の濃さ | 色を鮮やかにします。 | -128 ～ 127<br>最小値 (-128) で白黒の画面となります。 |
| | 注意点<br>• 本機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。 | |

**注意点**

- アナログ信号のカラー調整をおこなうときは、まず<レンジ調整>をおこなってください。（「色階調を自動調整する」P14 参照）
- 調整はモニターの電源を入れて、30 分以上経過してからおこなってください。
- <カラー>メニューの<リセット>を選択すると、現在設定しているカラーモードの色調のみ初期設定（工場出荷状態）に戻ります。
- モニターにはそれぞれ個体差があるため、複数台を並べると同じ画像でも異なる色に見える場合があります。複数台の色を合わせるときは、視覚的に判断しながら微調整してください。

**参 考**

- 調整メニューとファインコントラストモード名を同時に表示させることはできません。
- ファインコントラストモードの種類により、調整できる機能は異なります。

| メニュー | 内　　容 | 調整範囲 |
| --- | --- | --- |
| 色合い | 肌色などを好みの色合いにします。 | -32 ～ 32 |
| | **注意点**<br>• 本機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。 | |
| ゲイン | 赤、緑、青をそれぞれ調整し、好みの色調にします。 | 0 ～ 100%<br>赤、緑、青のそれぞれの明度を調整することにより、任意の色調を作ります。背景が白またはグレーの画像を表示して調整してください。 |
| | **参　考**<br>•「%」表示は調整値の目安としてご利用ください。<br>• ゲイン設定時、色温度は「オフ」になります。 | |
| リセット | 選択しているファインコントラストモードのカラー調整状態をすべて初期状態に戻します。 | |

## ● カラーを調整 / 設定する

(1) 調整メニューの＜カラー＞メニューを選択し、● を押します。

(2) ＜カラー＞メニューで調整したい機能を ▲/▼/◀/▶ で選択し、● を押します。

選択した機能メニューが表示されます。

(3) ▲/▼/◀/▶ で調整し、● を押します。

設定が完了します。

## 2 - 4　オフタイマー / 節電設定をする

### ● モニター電源を切る時間を設定する [ オフタイマー ]

モニターの使用時間を設定することによって、設定した時間が経過すると自動的にモニターの電源が切れます。モニターに長時間同じ画像を表示させていると生じる残像現象を軽減するための機能です。一日中同じ画像を表示させておくような場合にご利用ください。

**注意点**
- 節電モード時でもオフタイマーは機能しますが、予告機能は働きません。予告なしに電源が切れます。

**[ オフタイマーの流れ ]**

| タイマー | モニターの状態 | 電源ランプ |
| --- | --- | --- |
| 設定時間（1H ～ 23H） | オン | 青点灯 |
| 設定時間終了 15 分前 | 予告時間※ | 青点滅 |
| 設定時間終了後 | 電源オフ | 消灯 |

※ 予告期間中に ⏻ を押すと、押した時点から 90 分延長することができます。延長は回数に制限がなく何度でもできます。

**[ 設定方法 ]**

(1) 調整メニューの＜その他＞メニューを選択し、◉ を押します。

(2) ＜その他＞メニューで＜オフタイマー＞を選択し、◉ を押します。
＜オフタイマー＞メニューが表示されます。

(3) ▲ または ▼ で「有効」を選択します。

(4) ◀ または ▶ でモニターの使用時間（ 1 ～ 23 時間）を設定し、◉ を押します。
設定が完了します。

**[ 復帰方法 ]**

- ⏻ を押します。

## ● モニターの節電設定をする [ VESA DPMS / DVI DMPM ]

### ■アナログ信号入力の場合

本機は「VESA DPMS」に準拠しています。

**[ 節電の流れ ]**

| コンピュータの状態 | | モニターの状態 | 電源ランプ |
|---|---|---|---|
| オン | | オペレーションモード | 青 |
| 節電モード | スタンバイ<br>サスペンド<br>オフ | 節電モード | 橙 |

**[ 設定方法 ]**

(1) 調整メニューの＜ PowerManager ＞メニューを選択し、● を押します。

＜設定＞メニューが表示されます。

(2) ▲ または ▼ で「VESA DPMS」を選択し、● を押します。

設定が完了します。

**[ 復帰方法 ]**

- キーボードまたはマウスを操作します。

### ■デジタル信号入力の場合

本機は「DVI DMPM」に準拠しています。

**[ 節電の流れ ]**

コンピュータの設定に連動し 5 秒後に節電モードに入ります。

| コンピュータの状態 | モニターの状態 | 電源ランプ |
|---|---|---|
| オン | オペレーションモード | 青 |
| 節電モード | 節電モード | 橙 |

**[ 設定方法 ]**

(1) 調整メニューの＜ PowerManager ＞メニューを選択し、● を押します。

＜設定＞メニューが表示されます。

(2) ▲ または ▼ で「DVI DMPM」を選択し、● を押します。

設定が完了します。

**[ 復帰方法 ]**

- キーボードまたはマウスを操作します。

**注意点**

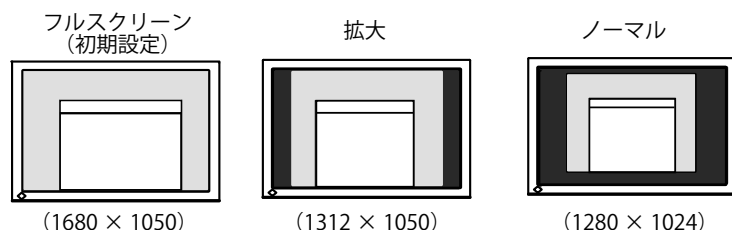
- 電源プラグを抜くことで、確実にモニター本体への電源供給は停止します。
- モニターが節電モードに入っても、USB 機器が接続されている場合、USB 機器は動作します。そのためモニターの消費電力は、節電モードであっても接続される機器によって変化します。
- 音声入力が入力されている場合も消費電力は変化します。

## 2-5　表示サイズを切り替える

### ● 表示サイズを切り替える [ 拡大モード ]

推奨解像度以外の解像度は、自動で画面いっぱいに拡大されますが、＜その他＞の＜拡大モード＞機能を使用して表示サイズを切替えることができます。

| メニュー | 機　　能 |
|---|---|
| フルスクリーン（初期設定） | 画面いっぱいに画像を表示します。ただし、拡大比率は縦・横一定ではないため、表示画像に歪みが見られる場合があります。 |
| 拡大 | 画面いっぱいに画像を表示します。ただし、拡大比率を縦・横一定にするため、水平・垂直のどちらかの方向に画像が表示されない部分が残る場合があります。 |
| ノーマル | 設定した解像度のままの大きさで画像が表示されます。 |

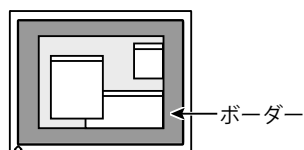
例：1280 × 1024 を表示した場合

**［設定方法］**

(1) 調整メニューの＜その他＞メニューを選択し、◉ を押します。

(2) ＜その他＞メニューで＜拡大モード＞を選択し、◉ を押します。
　＜拡大モード＞メニューが表示されます。

(3) ▲ または ▼ で「フルスクリーン」/「拡大」/「ノーマル」のいずれかを選択し、◉ を押します。
　設定が完了します。

### ● 画像の非表示部分の明るさを変える [ ボーダー ]

「ノーマル」、「拡大」モード時には、画像の周囲にボーダー（画像が表示されていない暗い部分）が表示されます。

(1) 調整メニューの＜その他＞メニューを選択し、◉ を押します。

(2) ＜その他＞メニューで＜ボーダー＞を選択し、◉ を押します。
　＜ボーダー＞メニューが表示されます。

(3) ◀ または ▶ で調整し、◉ を押します。
　調整が完了します。

# 2‐6　電源ランプ/EIZOロゴ表示を設定する

## ● 画面表示時の電源ランプを消す [ 電源ランプ ]

画面表示時の電源ランプ（青）を消すことができます。

(1) 調整メニューの＜その他＞メニューを選択し、⊙ を押します。
(2) ＜その他＞メニューで＜電源ランプ＞を選択し、⊙ を押します。
　＜電源ランプ＞メニューが表示されます。
(3) ▲ または ▼ で「無効」を選択し、⊙ を押します。
　設定が完了します。

参考
- 初期設定では、電源ランプは電源を入れたときに点灯します。

## ● EIZOロゴの表示 [EIZOロゴ表示機能 ]

本機の電源を入れた時に、EIZOロゴが画面中央に表示されます。このロゴの表示/非表示の切り替えができます。

**[ 設定方法 ]**

(1) ⏻ を押して、いったん電源を切ります。
(2) ⊙ を押しながら、⏻ を押します。
　ロゴが表示されなくなります。

**[ 解除方法 ]**

(1) ⏻ を押して、電源を切ります。
(2) ⊙ を押しながら、⏻ を押します。
　再びロゴが表示されます。

参考
- 初期設定ではロゴが表示されます。

# 2‐7　操作ボタンをロックする

## ● 操作をロックする [ 調整ロック ]

一度調整/設定した状態を変更しないように、操作ボタンをロックします。

| ロックできるボタン | • ⊙（エンターボタン）調整メニューによる調整/設定 |
|---|---|
| ロックできないボタン | • ⏻（電源ボタン）<br>• Ⓜ モードボタンによるファインコントラストモードの切り替え<br>• Ⓢ（入力切替ボタン）<br>• 🔉 🔊（音量調整ボタン）<br>• ◀/▶（明るさ調整ボタン） |

(1) ⏻ を押して、いったん電源を切ります。
(2) Ⓢ を押しながら、⏻ を押します。
　調整ロックがかかり画面が表示されます。

**[ 解除方法 ]**

(1) ⏻ を押して、電源を切ります。
(2) Ⓢ を押しながら、再度 ⏻ を押します。
　調整ロックが解除され画面が表示されます。

# 2 - 8　DDC/CI 通信を無効にする

## ● DDC/CI 通信を無効にする

DDC/CI 通信を無効にします。

**[ 設定方法 ]**

(1) ⏻ を押して、いったん電源を切ります。
(2) Ⓜ を押しながら ⏻ を押します。
DDC/CI 通信が無効になります。

**[ 解除方法 ]**

(1) ⏻ を押して、いったん電源を切ります。
(2) Ⓜ を押しながら ⏻ を押します。
DDC/CI 通信が有効になります。

**[ 設定状態の確認方法 ]**

(1) 調整メニューの＜インフォメーション＞メニューを選択し、⦿ を押します。
＜インフォメーション＞メニューが表示されます。
(2) 続けて ⦿ を押すと、2 ページ目に DDC/CI 通信の設定状態が表示されます。

# 2 - 9　調整メニューの表示を設定する

## ● 調整メニューの表示を変更する [ メニューサイズ / メニューポジション / メニューオフタイマー / 半透明 ]

**メニューサイズ**

調整メニューの表示サイズを変更できます。

(1) 調整メニューの＜その他＞メニューを選択し、⦿ を押します。
(2) ＜その他＞メニューで＜メニュー設定＞を選択し、⦿ を押します。
(3) ＜メニュー設定＞メニューで＜メニューサイズ＞を選択し、⦿ を押します。
＜メニューサイズ＞メニューが表示されます。
(4) ▲ または ▼ で「拡大」を選択し、⦿ を押します。
設定が完了します。

**メニューポジション**

調整メニューの表示位置を移動できます。

(1) 調整メニューの＜その他＞メニューを選択し、⦿ を押します。
(2) ＜その他＞メニューで＜メニュー設定＞を選択し、⦿ を押します。
(3) ＜メニュー設定＞メニューで＜メニューポジション＞を選択し、⦿ を押します。
＜メニューポジション＞メニューが表示されます。
(4) ▲ / ▼ / ◀ / ▶ で位置を移動し、⦿ を押します。
設定が完了します。

**メニューオフタイマー**

調整メニューの表示時間を設定できます。

(1) 調整メニューの＜その他＞メニューを選択し、◉ を押します。
(2) ＜その他＞メニューで＜メニュー設定＞を選択し、◉ を押します。
(3) ＜メニュー設定＞メニューで＜メニューオフタイマー＞を選択し、◉ を押します。
＜メニューオフタイマー＞メニューが表示されます。
(4) ▲ または ▼ で「有効」を選択します。
(5) ◀ または ▶ で、時間（15 秒 /30 秒 /45 秒 /60 秒）を選択し、◉ を押します。
設定が完了します。

**参考**

• ファインコントラストモード名の表示時間は変更できません。

**半透明**

調整メニューの表示透明度が設定できます。

(1) 調整メニューの＜その他＞メニューを選択し、◉ を押します。
(2) ＜その他＞メニューで＜メニュー設定＞を選択し、◉ を押します。
(3) ＜メニュー設定＞メニューで＜半透明＞を選択し、◉ を押します。
＜半透明＞メニューが表示されます。
(4) ◀ または ▶ で調整し、◉ を押します。
設定が完了します。

# 2 - 10　設置方向を設定する

## ● 調整メニューの向きを設定する [ 設置方向 ]

調整メニューの向きを 90 度回転できます。

(1) 調整メニューの＜その他＞メニューを選択し、◉ を押します。
(2) ＜その他＞メニューで＜設置方向＞を選択し、◉ を押します。
＜設置方向＞メニューが表示されます。
(3) ▲ または ▼ で「横置き」または「縦置き」を選択し、◉ を押します。
設定が完了します。

## 2 - 11　モニター情報をみる / 表示言語を設定する

### ● 設定状況、使用時間などを確認する [ インフォメーション ]

設定状況および機種名、製造番号、モニターの使用時間が確認できます。

(1) 調整メニューの＜インフォメーション＞メニューを選択し、● を押します。
＜インフォメーション＞メニューが表示されます。

(2) 続けて ● を押して、設定状況などを確認します。

参考
- 工場検査などのため、購入時に使用時間が「0」ではない場合があります。

### ● 表示言語を設定する [ 言語選択 ]

調整メニューの言語が選択できます。

**選択できる言語**

英語 / ドイツ語 / フランス語 / スペイン語 / イタリア語 / スウェーデン語 / 簡体語 / 繁体語 / 日本語

(1) 調整メニューの＜言語選択＞メニューを選択し、● を押します。
＜言語選択＞メニューが表示されます。

(2) ▲ / ▼ / ◀ / ▶ で言語を選択し、● を押します。
設定が完了します。

## 2 - 12　BrightRegulator を設定する

### ● 明るさの自動調整を設定する [BrightRegulator]

モニター正面のセンサーが周囲の明るさを検知し、明るさに応じて自動的に画面の明るさを調整します。

(1) 調整メニューの＜その他＞メニューを選択し、● を押します。

(2) ＜その他＞メニューで＜ BrightRegulator ＞を選択し、● を押します。
＜ BrightRegulator ＞設定画面が表示されます。

(3) ▲ または ▼ で「 有効 」または「 無効 」を選択し、● を押します。
設定が完了します。

参考
- BrightRegulator 機能を使用する場合はセンサーをふさがないように注意してください。

## 2 - 13　お買い上げ時の設定に戻す

### ● カラー調整をリセットする [ リセット ]

現在設定しているカラーモードの色調のみ初期設定（工場出荷状態）に戻します。

(1) 調整メニューの＜カラー＞メニューを選択し、● を押します。

(2) ＜カラー＞メニューで＜リセット＞を選択し、● を押します。
＜リセット＞メニューが表示されます。

(3) ▲ または ▼ で「リセット」を選択し、● を押します。
設定が完了します。

参考
- 主な初期値については、巻末をご覧ください（「主な初期設定（工場出荷設定）値」P33 参照）。

### ● すべての設定をリセットする [ リセット ]

調整 / 設定状態をすべて初期設定（工場出荷状態）に戻します。

(1) 調整メニューの＜その他＞メニューを選択し、● を押します。

(2) ＜その他＞メニューで＜リセット＞を選択し、● を押します。
＜リセット＞メニューが表示されます。

(3) ▲ または ▼ で「リセット」を選択し、● を押します。
設定が完了します。

# 第 3 章　接続する

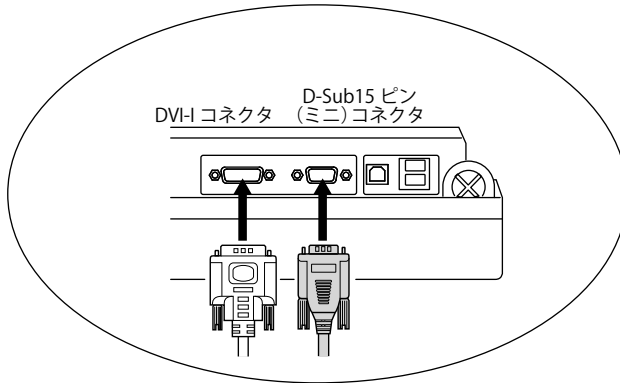
## 3 - 1　2 台のコンピュータを接続する

本機は、背面の DVI-I、D-Sub15 ピン（ミニ）コネクタに 2 台のコンピュータを接続し、切り替えて表示することができます。

**接続例**

| | | コンピュータ 1 | | コンピュータ 2 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 例 1 | デジタル | DVI | 信号ケーブル（付属 FD-C39） | 信号ケーブル（付属 MD-C87） | D-Sub15 ピン（ミニ） | アナログ |
| 例 2 | アナログ | D-Sub15 ピン（ミニ） | 信号ケーブル（オプション VI200） | 信号ケーブル（付属 MD-C87） | D-Sub15 ピン（ミニ） | アナログ |

**入力信号の切替方法**

Ⓢ で切り替えます。押すたびに信号が切り替わります。なお、信号を切り替えた時には、現在表示されている信号の種類（アナログまたはデジタル）が画面右上に表示されます。

**注意点**

- オプション信号ケーブル（VI200）を使用する場合、必ずコンピュータ側に D-Sub15 ピン（ミニ）コネクタを、モニター側に DVI-I コネクタを接続してください。逆に接続した場合、画面が表示されないことがあります。

● 入力信号の切替方法を設定する [ 入力信号 ]

コンピュータ信号が入力されているコネクタを自動的に判別して画面を表示します。
どちらかのコンピュータの電源が切れたり、省電力モードに入ると自動的に、もう一方の信号を表示します。

| 優先設定 | 機　能 |
|---|---|
| オート | どちらかのコンピュータの電源が切れたり、省電力モードに入ると自動的に、もう一方の信号を表示します。 |
| マニュアル | コンピュータの信号を自動検知しません。操作ボタンの Ⓢ で表示させたい入力信号を選択してください。 |

**[ 設定方法 ]**

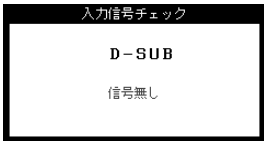
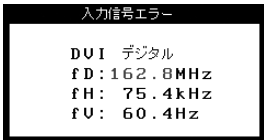
(1) 調整メニューの<その他>メニューを選択し、◉ を押します。
(2) <その他>メニューで<入力信号>を選択し、◉ を押します。
<入力信号>メニューが表示されます。
(3) Ⓐ または Ⓥ で「オート」または「マニュアル」を選択し、◉ を押します。
設定が完了します。

参 考
- 「オート」が選択されている場合は、2 台のコンピュータの両方が節電モードに入っている場合のみモニターの節電機能が動作します。

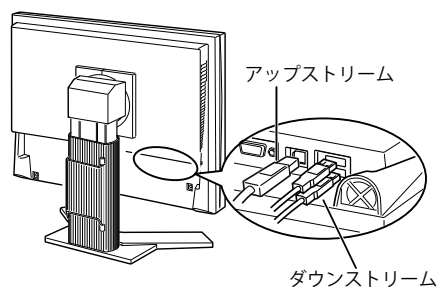
## 3 - 2　USB 対応の周辺機器に接続する

本機は USB 規格に対応しているハブを搭載しています。USB 対応のコンピュータまたは他の USB ハブに接続することにより、本機が USB ハブとして機能し、USB に対応している周辺機器と接続できます。

● **必要なシステム環境**

(1) USB ポートを搭載したコンピュータ、あるいは USB 対応のコンピュータに接続している他の USB ハブ
(2) Windows 2000/XP/Vista または Mac OS 9.2.2 および Mac OS X 10.2 以降
(3) EIZO USB ケーブル（MD-C93）

注意点
- 使用するコンピュータ、OS および周辺機器によっては動作しない場合があります。各機器の USB 対応については各メーカーにお問い合わせください。
- モニターが節電モードの場合、またモニターの電源を切っても、電源プラグをコンセントに接続している場合は、USB ポート（アップストリームおよびダウンストリーム）に接続されている機器が動作します。そのためモニターの消費電力は、節電モードであっても接続される機器によって変化します。

● **接続方法（USB 機能のセットアップ方法）**

(1) はじめにコンピュータとモニターを信号ケーブルで接続し、コンピュータを起動しておきます。
(2) USB 対応のコンピュータ（あるいは他の USB ハブ）のダウンストリームとモニターのアップストリームを USB ケーブルで接続します。
(3) セットアップが完了すると、モニターが USB ハブとして機能し、さまざまな USB 対応の周辺機器をモニターの USB ポート（ダウンストリーム）に接続することができます。

USB ケーブルの接続により自動的に USB 機能がセットアップされます。

# 第 4 章　こんなときは

症状に対する処置をおこなっても解消されない場合は、販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。

- 画面が表示されない場合 → 項目 1、2 を参照してください。
- 画面に関する症状（デジタル信号の場合）→ 項目 3 ～ 8 を参照してください。
- 画面に関する症状（アナログ信号の場合）→ 項目 3 ～ 12 を参照してください。
- その他の症状 → 項目 13 ～ 17 を参照してください。
- USB に関する症状→ 項目 18 を参照してください。

| 症　　状 | 原因と対処方法 |
|---|---|
| **1.　画面が表示されない**<br>• 電源ランプが点灯しない | • 電源コードは正しく差し込まれていますか。電源を切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。<br>• ⏻ を押してみてください。 |
| • 電源ランプが点灯：青色 | • ＜ゲイン＞の RGB の各調整値を高くしてみてください（P17 参照）。 |
| • 電源ランプが点灯：橙色 | • Ⓢ で入力信号を切り替えてみてください。<br>• マウス、キーボードを操作してみてください。<br>• コンピュータの電源は入っていますか。 |
| **2.　以下のようなメッセージが表示される** | この表示はモニターが正常に機能していても、信号が正しく入力されないときに表示されます。 |
| • 信号が入力されていない場合の表示です。<br>入力信号チェック<br>D-SUB<br>信号無し | • コンピュータによっては電源オン時に信号がすぐに出力されないため、左のような画面が表示されることがあります。<br>• コンピュータの電源は入っていますか。<br>• 信号ケーブルは正しく接続されていますか。<br>• Ⓢ で入力信号を切り替えてみてください。 |
| • 入力されている信号が周波数仕様範囲外であることを示す表示です（範囲外の信号は赤色で表示されます）。<br>例：<br>入力信号エラー<br>DVI デジタル<br>fD:162.8MHz<br>fH: 75.4kHz<br>fV: 60.4Hz | • コンピュータを再起動してみてください。<br>• グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な表示モードに変更してください。詳しくはグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。 |
| **3.　画面が明るすぎる / 暗すぎる** | • ＜ブライトネス＞を調整してください（LCD モニターのバックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、エイゾーサポートにご相談ください）。 |
| **4.　文字がぼやけて見える** | • ＜スムージング＞で調整してみてください（P14 参照）。 |
| **5.　残像が現れる** | • 長時間同じ画像を表示する場合に、スクリーンセーバーを設定したり、オフタイマー機能を活用してください。<br>• この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することを極力避けることをおすすめします。 |
| **6.　画面に緑 、赤 、青 、白のドットが残るまたは点灯しないドットが残る** | • これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。 |
| **7.　画面上に干渉縞が見られる / パネルを押したあとが消えない** | • 画面全体に白い画像または黒い画像を表示してみてください。症状が解消されることがあります。 |
| **8.　画面にノイズがあらわれる** | • アナログ信号の場合、＜ピクチャー調整＞の＜信号フィルタ＞で 1 ～ 4 を選択しモードを切り替えてみてください。<br>• HDCP 方式の信号を入力した場合、正常な画面がすぐに表示されないことがあります。 |

| 症　　状 | 原因と対処方法 |
|---|---|
| **9.　画像がずれている** | • 「水平ポジション」、「垂直ポジション」調整で画像の位置を合わせてください（P13 参照）。<br>• ご使用のグラフィックスボードのユーティリティなどに画像の位置を変える機能があれば、その機能を使用して調整してください。 |
| **10. 画面に縦線が出ている / 画面の一部がちらついている** | • ＜クロック＞で調整してみてください（P13 参照）。 |
| **11. 画面全体がちらつく、にじむように見える** | • ＜フェーズ＞で調整してみてください（P13 参照）。 |
| **12. 画面の上部が下図のように歪む** | • コンポジットシンク（X-OR）の信号とセパレートシンクの垂直同期信号が同時に入力されている場合に起こります。入力する信号をコンポジットかセパレートのどちらか一方にしてください。 |
| **13. 調整メニューにおいて、＜ピクチャー調整＞の＜スムージング＞アイコンが選択できない** | • 表示解像度によってはスムージングの設定をする必要はありません（スムージングアイコンを選択することはできません）。<br>• 以下の場合は選択できません。<br>　• 1680 × 1050<br>　• ＜拡大モード＞で「ノーマル」を選択している場合 |
| **14. 調整メニューのメインメニューが起動できない** | • 調整ロックが機能していないか確認してみてください（P21 参照）。 |
| **15. ファインコントラストモード名が表示できない** | • 調整メニューのメインメニューが起動していませんか。（詳細調整［調整メニュー］P16 参照） |
| **16. 自動調整機能が動作しない** | • 自動調整機能はデジタル信号入力時には動作しません。<br>• 一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。 |
| **17. 音声が出ない** | • ミニジャックケーブルは正しく差し込まれていますか。<br>• 音量が「0」になっていませんか。<br>• コンピュータおよび音声を再生しているソフトウェアの設定を確認してください。 |

| 症　　状 | 原因と対処方法 |
|---|---|
| **18. USB ケーブルで接続したモニターが認識されない／モニターに接続している USB 周辺機器が動作しない** | • USB ケーブルは正しく差し込まれていますか。<br>• 別の USB ポートに差し替えてみてください。別のポートで正しく動作した場合は、エイゾーサポートにご相談ください（詳しくはコンピュータの取扱説明書を参照してください）。<br>• 次の動作を試してみてください。<br>　• コンピュータを再起動してみる<br>　• 直接コンピュータと周辺機器を接続してみる<br>• モニター（USB ハブ）に接続しない状態で各機器が正常に動作する場合は、お買い求めの販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。<br>• ご使用のコンピュータおよび OS が USB に対応しているかご確認ください（各機器の USB 対応については各メーカーにお問い合わせください）。<br>• Windows をご使用の場合、コンピュータに搭載されている BIOS の USB に関する設定をご確認ください（詳しくはコンピュータの取扱説明書を参照してください）。 |

# 第 5 章　ご参考に

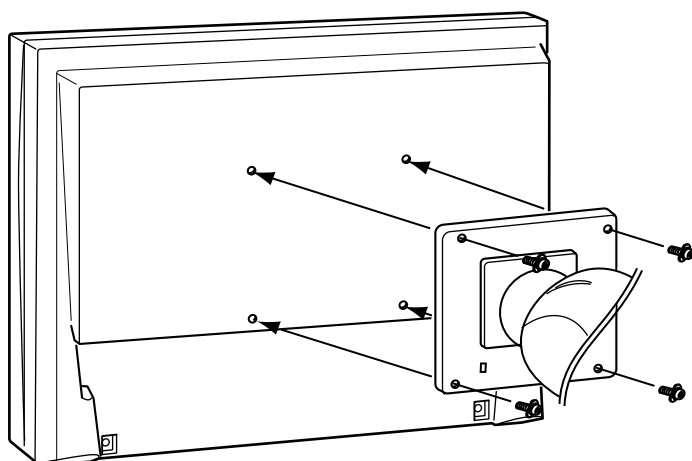
## 5 - 1　アーム取付方法

本機はスタンド部分を取り外すことによって、アーム（あるいは別のスタンド）に取り付けることが可能になります。アームまたはスタンドは当社オプション品をご利用ください。

［**取付方法**］

**1** **液晶パネル面が傷つかないよう、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。**

**2** **スタンド部分を取り外します。（別途ドライバーを準備ください。）**
ドライバーを使って、本体部分とスタンドを固定しているネジ 4 箇所を取り外します。

**3** **モニターをアーム（またはスタンド）に取り付けます。**
アームまたはスタンドの取扱説明書で指定のネジを使って取り付けます。

**注意点**

- 取り付けの際は、アームまたはスタンドの取扱説明書の指示に従ってください。
- 他社製のアームまたはスタンドを使用する場合は、以下の点をアームまたはスタンドメーカーにご確認の上、VESA 規格準拠のものをお選びください。取付には本機に付属しているネジ（M4 × 12mm）をご使用ください。
  - 取付部のネジ穴間隔：100mm × 100mm
  - プレート部の厚み：2.6mm
  - 許容質量：モニター本体の質量（スタンドなし）とケーブルなどの装着物の総質量に耐えられること
- アームまたはスタンドを使用する場合は、以下の範囲（チルト角）で使用してください。
  - 上 45°　下 45°（横表示時、および時計回り 90°に縦表示時）
- ケーブル類は、アームを取り付けた後に接続してください。
- EZ-UP スタンドの場合は、パネル部を左右に若干回転させて、下側のネジを取り外してください。

## 5 - 2　お手入れ

本製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをおすすめします。

**キャビネット**

柔らかい布を中性洗剤でわずかにしめらせ､汚れをふき取ってください｡

**液晶パネル面**

- 汚れのふき取りにはコットンなどの柔らかい布や、レンズクリーナー紙のようなものをご使用ください。
- 落ちにくい汚れは、少量の水をしめらせた布でやさしくふき取ってください。ふき取り後、もう一度乾いた布でふいていただくと、よりきれいな仕上がりとなります。

**注意点**

- 溶剤や薬品（シンナーやベンジン、ワックス、アルコール、その他研磨クリーナなど）は、キャビネットや液晶パネル面を痛めるため絶対に使用しないでください。

**参 考**

- 液晶パネル面のクリーニングには ScreenCleaner（オプション品）をご利用いただくことをおすすめします。

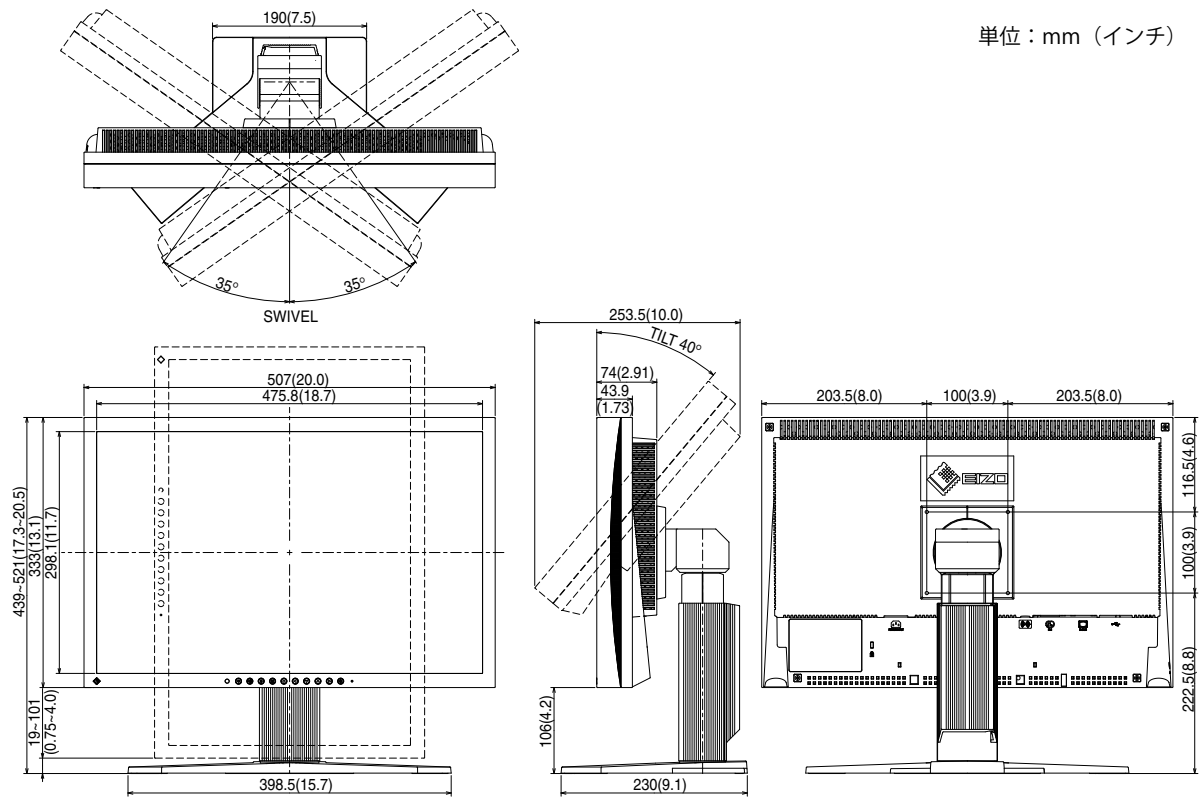
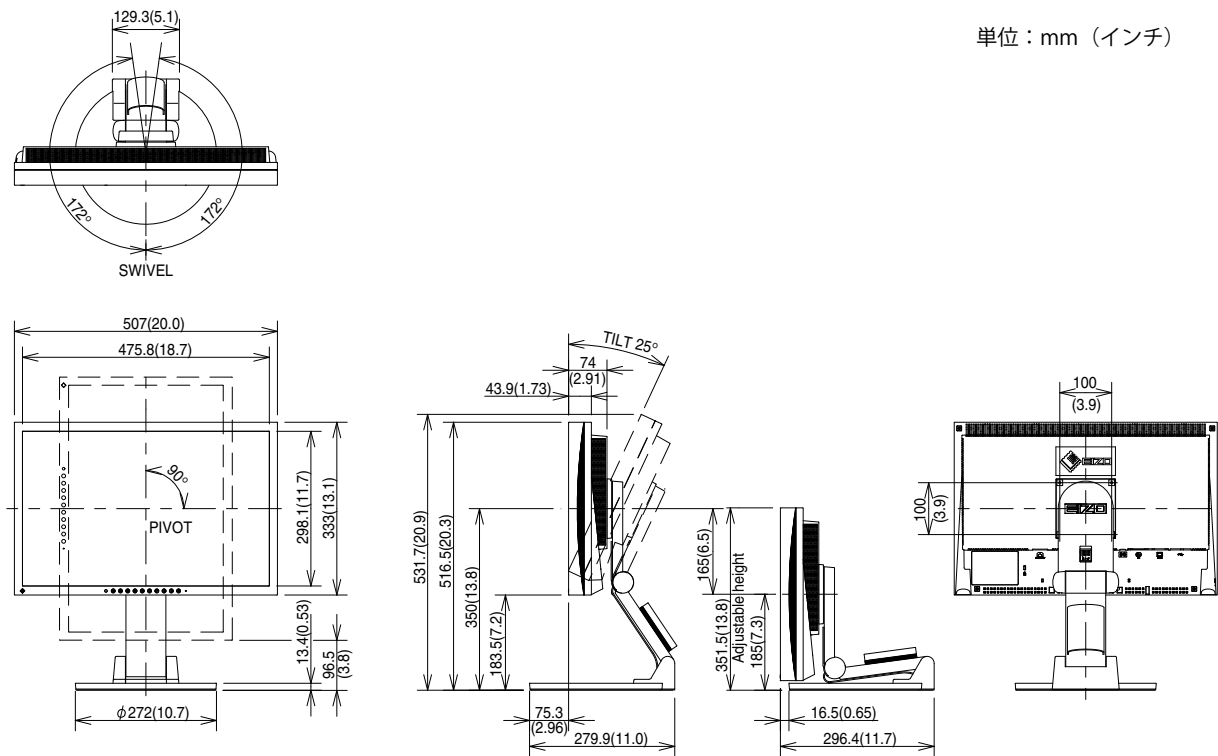
# 5 - 3　仕様

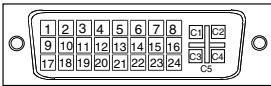
| 項目 | | 仕様 |
|---|---|---|
| 液晶パネル | | 56cm（22.0）型カラー TFT、アンチグレア、ハードコーティング<br>視野角：左右 178°、上下 178°（CR ≧ 10） |
| ドットピッチ | | 0.282mm |
| 水平走査周波数 | | アナログ信号入力時 24 ～ 82kHz<br>デジタル信号入力時 31 ～ 65kHz |
| 垂直走査周波数 | | アナログ信号入力時 49 ～ 86Hz（ノンインターレース）<br>（1280 × 1024 モード時は 49 ～ 76Hz）<br>（1680 × 1050 モード時は 49 ～ 61Hz）<br>デジタル信号入力時 59 ～ 61Hz（ノンインターレース）<br>（VGA TEXT 時 69 ～ 71Hz） |
| 解像度 | | 1680 ドット× 1050 ライン |
| ドットクロック（最大） | | アナログ信号入力時 150MHz<br>デジタル信号入力時 120MHz |
| 最大表示色 | | 約 1677 万色：8bit 対応（10 億 4877 万色中） |
| 表示サイズ（水平×垂直） | | 473.8mm × 296.1mm |
| 電源 | | AC100V ± 10%、50/60Hz、1.0A |
| 消費電力 | 画面表示時 | 75W 以下（USB 機器接続時、ミニジャックケーブル接続時）<br>65W 以下（USB 機器非接続時、ミニジャックケーブル非接続時） |
| | 節電モード | 2W 以下（1 系統入力時、USB 機器非接続時、ミニジャックケーブル非接続時） |
| | 電源ボタンオフ時 | 1W 以下（USB 機器非接続時、ミニジャックケーブル非接続時） |
| 信号入力コネクタ | | DVI-I コネクタ（HDCP 対応）、D-Sub15 ピン（ミニ） |
| アナログ信号　入力同期信号 | | セパレート、TTL、正 / 負極性 |
| | | コンポジット、TTL、正 / 負極性 |
| アナログ信号　入力映像信号 | | アナログ、正極性（0.7Vp-p/75 Ω） |
| デジタル信号伝送方式 | | TMDS（Single Link） |
| ビデオ信号メモリー | | アナログ信号　45 種（プリセット 24 種） |
| | | デジタル信号　10 種（プリセット 0 種） |
| 音声出力 | | スピーカー出力：0.5W ＋ 0.5W（8 Ω、THD ≦ 10%）<br>ヘッドホン出力：2mW ＋ 2mW |
| ライン入力 | | 入力インピーダンス：47K Ω（typ.）<br>入力レベル：1.0Vrms（最大） |
| プラグ＆プレイ機能 | | VESA DDC 2B/EDID structure 1.3 |
| 寸法 | 本体（ハイトアジャスタブルスタンド） | 507mm（幅）× 439 ～ 521mm（高さ）× 230mm（奥行き） |
| | 本体（EZ-UP スタンド） | 507mm（幅）× 351.5 ～ 516.5mm（高さ）× 279.9 ～ 296.4mm（奥行き） |
| | 本体（スタンドなし） | 507mm（幅）× 333mm（高さ）× 74mm（奥行き） |
| 質量 | 本体（ハイトアジャスタブルスタンド） | 11.8kg |
| | 本体（EZ-UP スタンド） | 13.1kg |
| | 本体（スタンドなし） | 8.3kg |

| | | |
|---|---|---|
| 可動範囲 | チルト角度 | ハイトアジャスタブルスタンド：上 40°下 0°<br>EZ-UP スタンド：上 25°下 0° |
| | スィーベル角度 | ハイトアジャスタブルスタンド：右 35°左 35°<br>EZ-UP スタンド：右 172°左 172° |
| | 昇降 | ハイトアジャスタブルスタンド：82mm<br>EZ-UP スタンド：165mm |
| | ローテーション | ハイトアジャスタブルスタンド：90°<br>EZ-UP スタンド：90° |
| 環境条件 | 温度 | 動作温度範囲：0℃～ 35℃<br>輸送保存温度範囲：-20℃～ 60℃ |
| | 湿度 | 相対湿度範囲：30% ～ 80% R.H.（非結露状態） |
| USB | 規格 | USB Specification Revision 2.0 準拠 |
| | ポート | アップストリーム× 1、ダウンストリーム× 2 |
| | 供給電源 | ダウンストリーム：最大 500mA/1 ポート |

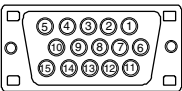
**主な初期設定（工場出荷設定）値**

| | | |
|---|---|---|
| BrightRegulator | | 無効 |
| スムージング | | 3 |
| ファインコントラストモード | | Custom |
| PowerManager | | VESA DPMS（アナログ信号入力時） |
| | | DVI DMPM（デジタル信号入力時） |
| 拡大モード | | フルスクリーン |
| オフタイマー | | 無効 |
| メニュー設定 | メニューサイズ | ノーマル |
| | メニューオフタイマー | 45 秒 |
| 言語選択 | | 日本語 |

## 外観寸法（ハイトアジャスタブルスタンド）

## 外観寸法（EZ-UP スタンド）

## 入力信号接続

• DVI-I コネクタ

| ピン No. | 入力信号 | ピン No. | 入力信号 | ピン No. | 入力信号 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | T.M.D.S. Data 2- | 11 | T.M.D.S. Data1/3 Shield | 21 | NC* |
| 2 | T.M.D.S. Data 2+ | 12 | NC* | 22 | T.M.D.S. Clock shield |
| 3 | T.M.D.S. Data2/4 Shield | 13 | NC* | 23 | T.M.D.S. Clock+ |
| 4 | NC* | 14 | +5V Power | 24 | T.M.D.S. Clock- |
| 5 | NC* | 15 | Ground (return for +5V, Hsync and Vsync) | C1 | Analog Red |
| 6 | DDC Clock (SCL) | 16 | Hot Plug Detect | C2 | Analog Green |
| 7 | DDC Data (SDA) | 17 | T.M.D.S. Data0- | C3 | Analog Blue |
| 8 | Analog Vertical Sync | 18 | T.M.D.S. Data0+ | C4 | Analog Horizontal Sync |
| 9 | T.M.D.S. Data1- | 19 | T.M.D.S. Data0/5 Shield | C5 | Analog Ground (analog R,G,&B return) |
| 10 | T.M.D.S. Data1+ | 20 | NC* | | |

(NC*: No Connection)

• D-Sub15（ミニ）コネクタ

| ピン No. | 入力信号 | ピン No. | 入力信号 | ピン No. | 入力信号 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | Red video | 6 | Red video ground | 11 | NC* |
| 2 | Green video or Green video + Composite Sync | 7 | Green video ground | 12 | Data（SDA） |
| 3 | Blue video | 8 | Blue video ground | 13 | H.Sync |
| 4 | NC* | 9 | NC* | 14 | V.Sync |
| 5 | Ground | 10 | Ground | 15 | Clock（SCL） |

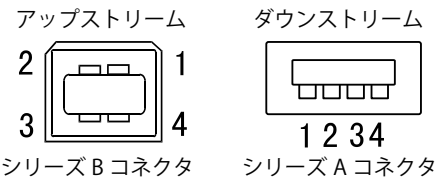
(NC*: No Connection)

• USB ポート

アップストリーム

シリーズ B コネクタ

ダウンストリーム

シリーズ A コネクタ

| 接点番号 | 信号名 | 備　考 |
|---|---|---|
| 1 | VCC | ケーブル電源 |
| 2 | - Data | シリアルデータ |
| 3 | + Data | シリアルデータ |
| 4 | Ground | ケーブルグランド |

## 別売オプション品一覧

| クリーニングキット | EIZO「ScreenCleaner」 |
|---|---|
| 信号ケーブル | VI 200<br>DD200 |
| スピーカーユニット | i・Sound L3 |

## 5-4　用語集

**色温度**

白色の色合いを数値的に表したものを色温度といい、K：ケルビン（Kelvin）で表します。炎の温度と同様に、画面は温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。
5000K：やや赤みがかった白色
6500K：暖色で紙色に近い白色
9300K：やや青みがかった白色

**解像度**

液晶パネルは決められた大きさの画素を敷き詰めて、その画素を光らせて画像を表示させています。本機種の場合は横 1680 個、縦 1050 個の画素がそれぞれ敷き詰められています。このため、1680 × 1050 の解像度であれば、画像は画面いっぱい（1 対 1）に表示されます。

**ガンマ**

一般に、モニターは入力信号のレベルに対して非直線的に輝度が変化していきます。これをガンマ特性と呼んでいます。画面はガンマ値が低いとコントラストが弱く、ガンマ値が高いとコントラストが強くなります。

**クロック**

アナログ入力方式のモニターにおいて、アナログ入力信号をデジタル信号に変換して画像を表示する際に、使用しているグラフィックスボードのドットクロックと同じ周波数のクロックを再生する必要があります。このクロックの値を調整することをクロック調整といい、クロックの値が正常でない場合は画面上に縦縞が現れます。

**ゲイン**

赤、緑、青それぞれの色の値を調整するものです。液晶モニターではパネルのカラーフィルターに光を通して色を表示しています。赤、緑、青は光の３原色であり、画面上に表示されるすべての色は３色の組み合わせによって構成されます。３色のフィルターに通す光の強さ（量）をそれぞれ調整することによって、色調を変化させることができます。

**フェーズ**

アナログ入力信号をデジタル信号に変換する際のサンプリングタイミングのことです。このタイミングを調整することをフェーズ調整といいます。クロックを正しく調整した後でフェーズ調整をおこなうことをおすすめします。

**レンジ調整**

信号の出力レベルを調整し、すべての色階調を表示できるように調整します。カラー調整をおこなう前にはレンジ調整をおこなうことをおすすめします。

**DDC/CI（Display Data Channel / Command Interface）**

VESA によって標準化された、コンピュータとモニター間で設定情報などを双方向にやりとりするための国際規格です。

**DVI（Digital Visual Interface）**

デジタルインターフェース規格の一つです。コンピュータ内部のデジタルデータを損失なくダイレクトに伝送できます。

伝送方式に TMDS、コネクタに DVI コネクタを採用しています。デジタル入力のみ対応の DVI-D コネクタと、デジタル / アナログ入力可能な DVI-I コネクタがあります。

**DVI DMPM（DVI Digital Monitor Power Management）**

デジタルインターフェースの節電機能のことです。モニターのパワー状態については Monitor ON（オペレーションモード）と Active Off（節電モード）が必須となっています。

**HDCP（High-bandwidth Digital Contents Protection）**

映像や音楽などのデジタルコンテンツの保護を目的に開発された、信号の暗号化方式。

DVI 端子を経由して送信されるデジタルコンテンツを出力側で暗号化し入力側で復号化することによりコンテンツを安全に伝送できます。

出力側と入力側の双方の機器が HDCP 対応していないと、コンテンツを再生できない仕組みになっています。

**sRGB（Standard RGB）**

周辺機器間（モニター、プリンター、デジカメ、スキャナーなど）の「色再現性、色空間」を統一する目的で成立した国際基準のことです。インターネット用の簡易的な色合わせの手段として、インターネットの送り手と受け手の色を近い色で表現できます。

**TMDS（Transition Minimized Differential Signaling）**

デジタルインターフェースにおける、信号伝送方式の一つです。

**VESA DPMS（Video Electronics Standards Association - Display Power Management Signaling）**

VESA では、コンピュータ用モニターの省エネルギー化を実現するため、コンピュータ（グラフィックスボード）側からの信号の標準化をおこなっています。DPMS はコンピュータとモニター間の信号の状態について定義しています。

## 5-5　プリセットタイミング

工場出荷時に設定されているビデオタイミングは以下のとおりです（アナログ信号のみ）。

| 表示モード | ドットクロック | | 周波数 水平：kHz 垂直：Hz | 極　性 |
|---|---|---|---|---|
| VGA 640 × 480@60Hz | 25.2 MHz | 水平 | 31.47 | 負 |
| | | 垂直 | 59.94 | 負 |
| VGA TEXT 720 × 400@70Hz | 28.3 MHz | 水平 | 31.47 | 負 |
| | | 垂直 | 70.09 | 正 |
| Macintosh 640 × 480@67Hz | 30.2 MHz | 水平 | 35.00 | 負 |
| | | 垂直 | 66.67 | 負 |
| Macintosh 832 × 624@75Hz | 57.3 MHz | 水平 | 49.72 | 負 |
| | | 垂直 | 74.55 | 負 |
| Macintosh 1152 × 870@75Hz | 100.0 MHz | 水平 | 68.68 | 負 |
| | | 垂直 | 75.06 | 負 |
| Macintosh 1280 × 960@75Hz | 126.2 MHz | 水平 | 74.76 | 正 |
| | | 垂直 | 74.76 | 正 |
| VESA 640 × 480@72Hz | 31.5 MHz | 水平 | 37.86 | 負 |
| | | 垂直 | 72.81 | 負 |
| VESA 640 × 480@75Hz | 31.5 MHz | 水平 | 37.50 | 負 |
| | | 垂直 | 75.00 | 負 |
| VESA 640 × 480@85Hz | 36.0 MHz | 水平 | 43.27 | 負 |
| | | 垂直 | 85.01 | 負 |
| VESA 800 × 600@56Hz | 36.0 MHz | 水平 | 35.16 | 正 |
| | | 垂直 | 56.25 | 正 |
| VESA 800 × 600@60Hz | 40.0 MHz | 水平 | 37.88 | 正 |
| | | 垂直 | 60.32 | 正 |
| VESA 800 × 600@72Hz | 50.0 MHz | 水平 | 48.08 | 正 |
| | | 垂直 | 72.19 | 正 |
| VESA 800 × 600@75Hz | 49.5 MHz | 水平 | 46.88 | 正 |
| | | 垂直 | 75.00 | 正 |
| VESA 800 × 600@85Hz | 56.3 MHz | 水平 | 53.67 | 正 |
| | | 垂直 | 85.06 | 正 |
| VESA 1024 × 768@60Hz | 65.0 MHz | 水平 | 48.36 | 負 |
| | | 垂直 | 60.00 | 負 |
| VESA 1024 × 768@70Hz | 75.0 MHz | 水平 | 56.48 | 負 |
| | | 垂直 | 70.07 | 負 |
| VESA 1024 × 768@75Hz | 78.8 MHz | 水平 | 60.02 | 正 |
| | | 垂直 | 75.03 | 正 |
| VESA 1024 × 768@85Hz | 94.5 MHz | 水平 | 68.68 | 正 |
| | | 垂直 | 85.00 | 正 |
| VESA 1152 × 864@75Hz | 108.0 MHz | 水平 | 67.50 | 正 |
| | | 垂直 | 75.00 | 正 |
| VESA 1280 × 960@60Hz | 108.0 MHz | 水平 | 60.00 | 正 |
| | | 垂直 | 60.00 | 正 |
| VESA 1280 × 1024@60Hz | 108.0 MHz | 水平 | 63.98 | 正 |
| | | 垂直 | 60.02 | 正 |
| VESA 1280 × 1024@75Hz | 135.0 MHz | 水平 | 79.98 | 正 |
| | | 垂直 | 75.03 | 正 |
| VESA CVT 1680 × 1050@60Hz | 146.3 MHz | 水平 | 65.29 | 負 |
| | | 垂直 | 59.95 | 正 |
| VESA CVT RB 1680 × 1050@60Hz | 119.0 MHz | 水平 | 64.67 | 正 |
| | | 垂直 | 59.88 | 負 |

**注意点**

- 接続されるコンピュータの種類により表示位置等がずれ、調整メニューで画面の調整が必要になる場合があります。
- 一覧表に記載されている以外の信号を入力した場合は、調整メニューで画面の調整をおこなってください。ただし、調整をおこなっても画面を正しく表示できない場合があります。
- インターレースの信号は、調整メニューで調整をおこなっても画面を正しく表示することができません。

# 第 6 章　アフターサービス

本製品のサポートに関してご不明な場合は、エイゾーサポートにお問い合わせください。エイゾーサポートの拠点一覧は別紙の「お客様ご相談窓口のご案内」に記載してあります。

**保証書・保証期間について**

- この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げの販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、販売店の捺印の有無、および記載内容をご確認ください。なお、保証書は再発行致しませんので、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げの日より 5 年間かつ製品使用時間が 30,000 時間以内です。また、液晶パネルおよびバックライトの保証期間は、お買い上げの日より 3 年間です。
- 当社では、この製品の補修用部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造終了後、最低 7 年間保有しています。補修用部品の最低保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、エイゾーサポートにご相談ください。

**修理を依頼されるとき**

- 保証期間中の場合
  保証書の規定にしたがい、エイゾーサポートにて修理をさせていただきます。お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご連絡ください。
- 保証期間を過ぎている場合
  お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご相談ください。修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

**修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容**

- お名前・ご連絡先の住所・電話番号 /FAX 番号
- お買い上げ年月日・販売店名
- モデル名・製造番号（製造番号は、本体の背面部のラベル上および保証書に表示されている 8 けたの番号です。例）S/N 12345678）
- 使用環境（コンピュータ / グラフィックスボード /OS・システムのバージョン / 表示解像度等）
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

**修理について**

- 修理の際に当社の品質基準に適合した再生部品を使用することがありますのであらかじめご了承ください。

## 製品回収・リサイクルシステムについて

- 本製品ご使用後の廃棄は、下記回収・リサイクルシステムにお出しください。

＊なお、詳しい情報については、弊社のホームページもあわせてご覧ください。（http://www.eizo.co.jp）

- **法人のお客様** 本製品は、法人のお客様が使用後産業廃棄物として廃棄される場合、お客様の費用負担でお引取りいたします。詳細については下記までお問合せください。

[ エイゾーサポートネットワーク株式会社 ]

| 電話での問合せ受付 | FAX での問合せ受付 |
|---|---|
| 076-274-7369（専用） | 076-274-2416 |
| 月曜日～金曜日<br>（祝祭日及び弊社休日を除く）<br>9：30 ～ 17：30 | 24 時間受付<br>但し、回答は営業時間帯<br>（電話受付時間帯と同じ） |

- **個人のお客様** 本製品をご購入された個人のお客様は、ご購入後すぐに同梱の「PC リサイクルマーク請求はがき」にて PC リサイクルマークをご請求ください。
マークは本体背面部のラベルの近くに貼付ください。

[ 情報機器リサイクルセンター ]

| 電話での問合せ受付 | インターネットでの問合せ受付 |
|---|---|
| 03-3455-6107 | http://www.pc-eco.jp |
| 月曜日～金曜日<br>（祝祭日及び弊社休日を除く）<br>9：00 ～ 17：00 | |

個人のお客様が、このマークが付いた弊社製品の回収を情報機器リサイクルセンターにご依頼いただいた場合は、お客様に料金をご負担いただくことなく回収、再資源化いたします。

## 特定化学物質の含有情報（グリーンマーク）

日本工業規格（JIS）C 0950:2005（通称 J-Moss）「電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法」の基準値において、本機は特定化学物質の含有率が基準値以下の製品（グリーンマーク製品）です。

本製品および弊社製品の「特定化学物質の含有情報」については、弊社のホームページをご参照ください。（http://www.eizo.co.jp）

Congratulations!
The display you have just purchased carries the TCO'03 Displays label. This means that your display is designed, manufactured and tested according to some of the strictest quality and environmental requirements in the world. This makes for a high performance product, designed with the user in focus that also minimizes the Impact on our natural environment.

Some of the features of the TCO'03 Display requirements:

Ergonomics
- Good visual ergonomics and image quality in order to improve the working environment for the user and to reduce sight and strain problems. Important parameters are luminance, contrast, resolution, reflectance, colour rendition and image stability.

Energy
- Energy-saving mode after a certain time - beneficial both for the user and environment
- Electrical safety

Emissions
- Electromagnetic fields
- Noise emissions

Ecology
- The products must be prepared for recycling and the manufacturer must have a certified environmental management system such as EMAS or ISO 14000
- Restrictions on
    - chlorinated and brominated flame retardants and polymers
    - heavy metals such as cadmium, mercury and lead.

The requirements includes in this label have been developed by TCO Development in co-operation with scientists, experts, users as well as manufacturers all over the world. Since the end of the 1980s TCO has been involved in influencing the development of IT equipment in a more user-friendly direction. Our labeling system with displays in 1992 and is now requested by users and IT-manufacturers all over the world.

For more information, please visit
**www.tcodevelopment.com**

このたびお求めのモニターには、TCO'03 ラベルが貼り付けられています。これはこのモニターが世界でも最も厳しい、いくつかの品質・環境要求に従って開発され、製造されたものであることを示しています。TCO'03 ラベルは、ユーザー主体の高性能な製品の開発や、自然環境への影響を最小限に抑制するために役立っています。

TCO'03 モニターにはいくつかの要求事項があります。

エルゴノミクス
ユーザーの作業環境を改善し、視覚や疲労の問題を軽減するために、優れたビジュアルエルゴノミクスと画像品質が求められます。輝度、コントラスト、解像度、反射率、演色性、画像の安定性といった項目が重要な要素となります。

エネルギー
一定時間経過後に節電モードに移行することが求められます。これはユーザーおよび環境の双方に有益な要求です。
電気的安全性についても求められています。

エミッション
電磁界やノイズの発生に対する要求事項があります。

エコロジー
TCO'03 製品は、リサイクルシステムを整備しなければなりません。また製造者は EMAS や ISO 14000 といった環境マネジメントシステムの認証を受けなければなりません。
塩素系または臭素系難燃剤および高分子化合物の、製品への使用が規制されています。
またカドミウム、水銀、鉛などの重金属についても使用が規制されています。

TCO'03 の要求事項は、製造者に加えて世界中の科学者、専門家、ユーザーの協力のもとに TCO Development によって監修されています。1980 年後半より、TCO はユーザーフレンドリーな IT 機器の開発に影響を及ぼすべく関与してきました。モニター分野における TCO ラベリングシステムは 1992 年より始まりました。現在では世界中のユーザーや IT 企業に求められているシステムです。

さらに詳しい情報は www.tcodevelopment.com を参照してください。